

# 都労委/救済を認めず！

日本アクリル支部の都労委での闘いは今年の7月に結審し12月10日に決定が出されました。その内容は、会社の和解撤回や団体交渉拒否は不当労働行為に当

たらないとして組合からの救済申立を棄却する内容のものでした。組合は今月開催の支援共闘会議で今後の方針を決定する予定です。裏面に「声明文」掲載。

要な一歩であり、私たち愛労連の運動の成果です。しかし、非連合委員の任命、女性委員の増員、非正規労働者の任命、医療福祉分野からの任命、何よりも不当労働行為とのたかひの経験のあるものを任命するといった点では、まったくのゼロ回答でした。

第48期愛知県労働委員会が公表される

11月27日に第48期愛知県労働委員会委員（任期2025年12月1日～2027年11月30日）の名簿が公表されました。

労働法学者が半世紀ぶりに任命されたことは、労働者の信頼を回復し、再生をめざす上で重

## 愛知地方本部

＝発行＝

全労連・全国一般労働組合愛知地方本部＝煤本國治  
住所：名古屋市中区下町9-3  
労働会館本館405

## 愛知単一労働組合協議会大会開催（12/2）



平田議長の挨拶

私たち全国一般も構成団体になっている「愛知単一労働組合協議会」の2026年定期大会が12月2日に開催しました。協議会役員11名、大会代議員10名の計21名（欠席ゼロ）の参加で開催。議長に愛自交の代議員を選出し議事を進めました。西尾議長、平田議長の挨拶に始まり、2025年度活動報告・決算報告、2026年度活動方針・財政方針を加藤事務局長と氏家会計から報告されました。その後、協議会構成4団体から活動報告がされ、質疑を行いました。最後は全ての議案を拍手で承認し、煤本副議長の閉会挨拶で大会は無事終了。

夕方からは、60人を超す参加者で協議会主催の忘年会が金山のホテルで行われ交流、親睦を深めました。（記 代議員A）



忘年会会場風景

12月8日（月）、愛労連・

愛知国民春闘共闘委員会・名古屋ふれあいユニオンは今回の任命について、愛知県大村知事に對し、「第48期労働者委員会労働者委員の不当任命に抗議する」とした申し入れを15人で行いました。県からは労働局就業推進監と労働局福祉課長が対応しました。

参加者から「どうやって委員を選定したのか」「大企業の労働組合の役員だけでは多様な意見が反映されない」「ジェンダー平等をどう考えているのか（7人の労働者委員中、女性委員は2人）」「医療や福祉分野から

の労働相談が多いが委員にいない」などと指摘しました。これに對し、県側は「総合的に任命」「女性比率を優先してはいない」「（医療福祉の分野からの登用について）特定の産業分野から選任しているわけではない。分野に関係なく誠実に職務に専念している。多様な潮流については判断の材料の一



2026年新春

# 旗開き

1月9日(金)18時30分～20時

労働会館東館5階ギャラリーにて開催

つ。多様性は大事」などと答えるにとどまりました。（記 執行部）

## 都労委命令に対するアクリル支部の声明

不当な都労委命令に抗議します。

12月10日、都労委が日本アクリル支部に対する日本アクリル化学社の和解交渉での解決金の提示を撤回したことによる支配介入の問題及び、その後の団体交渉拒否について不当労働行為には当たらずの判断で棄却されました。この命令は不当な判断だと言わざるを得ません。全労連・全国一般労働組合愛知地方本部日本アクリル支部は、ここに強く抗議します。

日本アクリル化学は、紙塗工/自動車/建築用塗料等多岐にわたるアクリル樹脂製造会社として長年中京地域で雇用の一角を担ってきました。親会社であるダウ・ケミカルは名古屋工場への設備投資に多額の投資が必要だが回収の見込みがないとして工場閉鎖を打ち出し組合との協議を打ち切りました。投資の詳細な内訳等の説明を求めましたが、最終的には企業秘密のため資料開示はできないとして協議を打ち切り、2020年9月30日、名古屋工場閉鎖を強行、組合員10名を全員解雇しました。業界屈指の技術を持ちダウ・ケミカルは、製造工場の中でもトップの品質を誇り、優秀な労働者を抱えながら、毎年黒字経営を続け親会社には1億円の短期貸付けをする企業でした。ダウ・ケミカルは、更な利益追求の為に国内需要も十分にあるにもかかわらず海外からの製品を輸入して事業を継続しています。

都労委での係争は、親企業であるダウ・ケミカルの意向をくんだ労働者が、2020年8月頃に第2組合を結成し2020年9月末解雇が撤回され4ヵ月の雇用を延長するという差別が行われました。2022年7月20日、会社は和解交渉において第2組合との差別を認め、差別額の支払いを基準にした「和解のための解決案」を提示しました。同年8月26日組合は団交での解決に臨みました。ところが、この団交の席上、突然会社は「回答を撤回する」と発言し、自ら認めた差別分の支払い回答を取り消したのです。このことが支配介入に当たることとして、その後の団体交渉に一切応じない団交拒否が不当労働行為に当たるとして労働委員会に救済を求めたものです。

これまでご支援して頂いたことに感謝しつつ、争議の全面解決に向けて引き続き奮闘していきます。今後ともご支援ご協力よろしくお願いします。

2025年12月11日

アクリル争議弁護団

弁護士 鷲見 賢一郎

全労連・全国一般労働組合

中央執行委員長 東中 貢

全労連・全国一般労働組合愛知地方本部

執行委員長 煤本 國治

全労連・全国一般労働組合愛知地方本部日本アクリル支部

執行委員長 林 義博

愛労連2026春闘討論集会

# 「対話と学び合い」を实践

12/7刈谷市産業振興センターにて開催

愛労連・愛知国民春闘共闘主催の2026国民春闘討論集会が刈谷市産業振興センターで開催され70人が参加しました。全労連事務局次長の布施さんが「対話と学び合いで仲間を増やして要求を実現する春闘をめざして」と題して、国際・国内的に起こっている変化を分かりやすく紹介し講演(写真下)。その後仲間づくり、組織の変革をはかるため「グループ討論Ⅱ対話と学び合い」に入りました。



12グループに別れ「自らの生活実感と賃上げで生活をどう変えたいか、賃金以外で実現したい要求」で討論。「対話と学び合い」のトークセッションでは、松本陵子さん(愛高教書記次長)、薄美穂子さん(福祉保育労働海地本書記長)、安海英由美さん(建交労愛知保育パート支部副委員長)、塩森真由美さん(自治労連愛知自治体一般労組大府分会分会長)が実践と成果を報告。さらにグループ討論で「自

分は何をするか、何を換えられるか」を議論しました。少人数での討論はアットホームの雰囲気で行われ、熱気溢れるものがありました。(記 工)

### 今後の予定

12月23日(火) 日本アクリル争議支援共闘会議

1月9日(金) 2026全国一般愛知地本旗開き

1月10日(土) 愛労連・単産・地域代表者会議・新春学習会&旗開き

1月25日(日) 愛労連第73回臨時大会

1月29日(木) 地本執行委員会④

2月11日(水) トヨタ総行動(光の広場)

2月16日(月) 第1回評議委員会

2月18日(水) 単一労働組合協議会幹事会①



いよいよ今年も残すところ僅かになりました。それにしても、今回の日本アクリル支部都労委への救済申請に対する命令には、ここまで来たか!というほどの酷い内容。労働者救済機関ではなく企業「救済」機関に成り下がったのか! 私たちは絶対に引き下がることは出来ません(工)